

平成 25 年定例会
予算決算常任委員会
環境生活農林水産分科会
説明資料

◎ 議案補充説明

- 1 議案第 144 号
平成 25 年度三重県一般会計補正予算（第 5 号） 1

平成 25 年 11 月 27 日

環 境 生 活 部

1 議案第144号

平成25年度三重県一般会計補正予算（第5号）主要項目

【債務負担行為】

（単位：年度・千円）

事項	補正前		補正後		説明
	期間	限度額	期間	限度額	
史跡齋宮跡 東部整備事業 建物復元 工事に係る 契約	26	189,588	26～27	203,363	当該工事の入札不調（一者入札）に伴う期間の変更及び消費税率の引上げに伴う限度額の変更。
史跡齋宮跡 東部整備事業 建物復元 設計監理委 託に係る契 約	26	19,830	26～27	19,830	建物復元工事の期間変更に伴う期間の変更。

【繰越明許費】

（単位：千円）

款	項	事業名	繰越明許額	説明
総務費	生活文化費	齋宮跡保存対策費	284,891	史跡齋宮跡東部整備事業建物復元工事の入札不調に伴う、当該工事及び史跡齋宮跡東部整備事業建物復元設計監理委託経費の繰越し。

史跡齋宮跡東部整備事業(こころのふるさと齋宮づくり事業)について

1 事業の目的

史跡齋宮跡は、伊勢神宮に仕える齋王の宮殿と役所が置かれた「齋宮」という全国でも類を見ない、三重県独自の貴重な財産です。県では、史跡全体を博物館と考える「サイトミュージアム(史跡博物館)」と位置づけ、その歴史的意義を発掘調査等により解明し、保存、継承、活用するために必要な史跡整備を行っています。

これにより、地域住民や来訪される方々に齋宮の歴史・文化的価値について理解を深めていただくとともに、明和町及び周辺市町を含めた地域の活性化、持続的なまちづくりにつながっていくことが期待されます。

2 史跡整備の概要

(1) 計画の概要

史跡東部の事業予定地は、平成 19～21 年度の集中的発掘調査により、齋宮寮の長官が管轄する平安時代の齋宮の中枢部だったことが解明されたため、往時の齋宮の雰囲気を感じられるよう、当時の主要建物や道路の復元整備を進めています。

平成 22 年度に事業着手し、平成 27 年度までに、齋宮「寮庁」と考えられる役所の主要建物 3 棟(正殿・西脇殿・東脇殿、建築費約 4 億 9 千万円)や古代伊勢道の復元等を行う計画で、総額 9 億 1 千万円余り(国：1/2、県：1/2)を見込んでいます。

(2) 整備スケジュール等

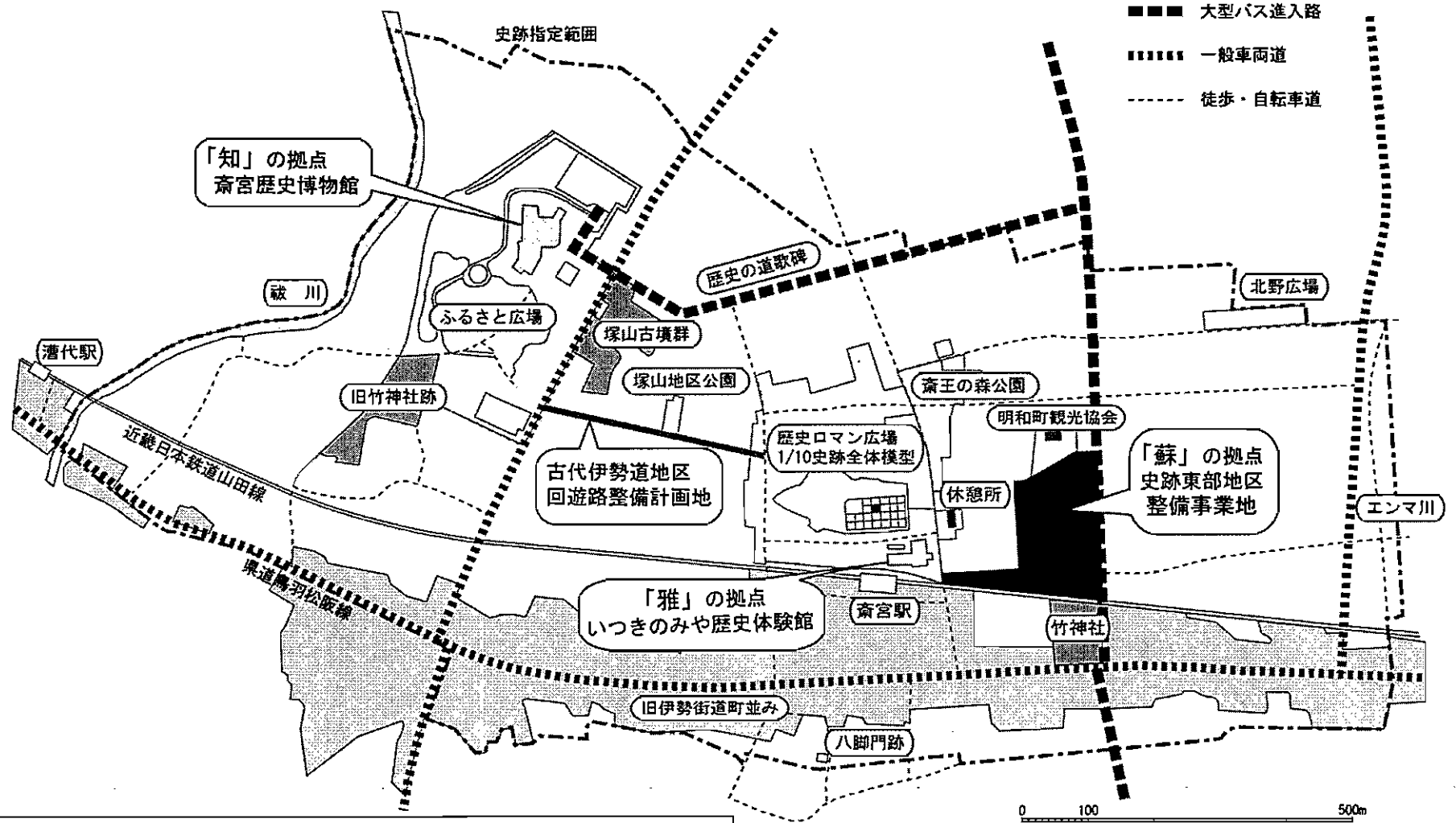
平成 24 年度末までに、基盤整備の主な部分並びに復元建物の実施設計等を終え、平成 25 年度と 26 年度の 2 カ年で、復元建物整備を終える予定でしたが、入札不調により、建物の完成が平成 27 年度にずれ込むことになりました。

地元では、明和町・関係団体・住民が平成 26 年度末の建物の完成を前提に観光交流の促進と地域産業の活性化を図るための各種取組を進めてきたことから、遅れを最小限にとどめる必要があります。

主な内容	H22	H23	H24	H25	H26	H27
基盤整備等	実施設計			整備工事		
復元建物			実施設計	建築工事(当初)		
				建築工事(変更後)		
古代伊勢道					実施設計	整備工事
その他						報告書・看板

※「基盤整備等」には、土地の造成(盛土)、調整池の整備、排水対策等のほか、区画道路の復元、建物や塀の遺構表示を含む。

齋宮跡 整備位置図

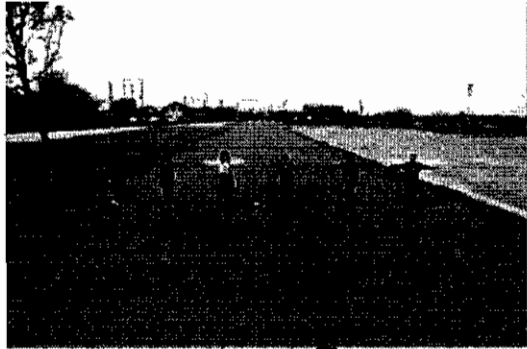


平成元年度 齋宮歴史博物館建設
 平成6年度 博物館南側ふるさと広場整備
 平成8～13年度 いつきのみや歴史体験館
 1/10史跡全体模型を含む歴史ロマン広場整備

3

史跡齋宮跡東部整備事業(柳原区画)の 計画平面図

平成 23 年度に完成した幅約 15m の広大な東西区画道路



いつきのみや
歴史体験館

至
齋宮駅

近鉄山田線

至
明皇宮



復元建物完成予想図